

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 45-2	提案機関名 環境農政局農政部農業振興課
要望問題名 2020 農林業センサスの分析について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 農業技術センターで、今までのセンサスデータから神奈川県の実態を捉え、将来の方向性等について分析を行っている。2020 農業センサスについても結果が公表され次第、担い手に関する分析をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) Ⅷ-1(1) 農業の担い手の構造変化と将来方向の分析 ア 農業センサスを用いた地域農業の構造変化の把握			
対応の内容等 農林業センサスについては、2005年センサスから公表される毎に課題を設定し、農業の構造変化の把握に取り組んできました。 2020年農林業センサスにつきましても、公表され次第、上記の課題の中で、農地や担い手の変化について分析に取り組みます。 2015年農林業センサスを用いた担い手に関する分析では、依然、担い手は減少し、高齢化が進んでいるものの、組織経営体や新規農家の増加など、新しい動きも確認されました。また、小さい神奈川県内でも担い手の状況が地域より異なることを明らかにしました。 このことから、2020年センサスを用いた課題取り組みにあたっては、担い手の動向について、地域性に着目しながら分析を行います。 政策立案・事業実施段階でご活用頂けるよう分析にあたりたいと考えますので、ご意見、ご助言よろしくお願ひします。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			